

第2回専門部会が5月17日に 開催されました。

本格的に動き出した専門部会

持ち越されていた副座長に八幡宮前振興会の小島 皓史さんが指名されました。
座長、副座長が決まり、専門部会が本格的に動き出しました。

[自治会・町内会の代表]		[商店会の代表]	
八幡宮前振興会 ▲	小島 皓史	八幡宮前商店会	松岡 英男
雪ノ下岩谷堂町内会	松島 誠一	小町商店会	今市 忠志
佐助自治会	入江 英雄	鎌倉表駅商友会	
山玉台自治会	酒井 捷允	鎌倉御成商店街協同組合	山崎 巳之吉
扇ガ谷上町自治会	伊沢 治伸	鎌倉西口商店会 ●	奴田 不二夫
扇ガ谷下町自治会	山村 剛	鎌倉由比ガ浜商店街振興組合	菊一 公明
蔵屋敷自治会	石川 隆	市民委員 (公募)	山本 徳樹
御成町末広自治会 ●	奴田 不二夫	市民委員 (公募)	村尾 厚子
小町二丁目自治会	小泉 親昂	市民委員 (公募)	漢那 肇
由比ガ浜自治会	井上 嘉平	市民委員 (公募)	天野 美恵子
塔ノ辻自治会	小森 良雄	市民委員 (公募)	岩立 実勇
由比ガ浜中央自治会	中丸 憲治	鎌倉市交通政策研究会	坂本 邦宏 ◎
扇ガ谷泉ヶ谷町内会	加藤 佐紀子	鎌倉市交通政策研究会	エルファデ インク・ズザンネ
		鎌倉市交通政策研究会	青木 政行
		鎌倉市交通政策研究会	人見 好次郎

● 座長 ▲ 副座長 ◎ ワークショップリーダー

休日の今小路通りの現状を体験

休日の今小路通りの車両と、歩行者の通行量を委員の方に体験してもらうため、5月3日の憲法記念日に体験調査を行いました。
新たな視点で今小路通りを見ることにより、問題点だけでなく、残しておきたい場所についても再度認識することにより、計画(案)づくりの議論を発展させていきたいと考えています。



渋滞で車が路側に停車しているため、仕方なく道の真ん中を歩く歩行者

□体験調査から出された意見

◎道路施設に関する意見

- ・歩道が狭く、段差が多いため車椅子や障害者には使いづらく、バリアフリーになつていない。
- ・電柱が車のスピードを抑制する役目をしているが歩きにくい。
- ・道路標識が見にくい。(右折禁止標識)
- ・イメージハンブが見えにくいので、スピードを落とす効果が期待出来ない。

◎自動車に関する意見

- ・道が狭いのに車がスピードを出していて怖かった。
- ・人力車が交通妨害。車と人力車によって人が塀に張り付く感じになっていった。
- ・他県ナンバーが目立ち、地元の車が少なかった。
- ・予想していたよりも車が少なかった。

◎歩行者に関する意見

- ・一度の信号で渡りきれないほどの人が出た。
- ・歩行者は狭い道であることを認識して歩いている。
- ・路上で商売をしていたため、人だかりとなつて通行を阻害していた。
- ・歩行者天国のような賑わいで、どちらに向かう人か分からないほど混雑していた。
- ・周辺の方の協力を得て、ゆっくり歩けるような道にしたい。

今小路通り交通量調査結果

平成18年5月3日(水) 午後2時から3時



断面交通量

方向	→	←
車両	103	0
歩行者	計測不能	計測不能
方向	↑	↓
車両	88	94
歩行者	404	471
方向	↑	↓
車両	165	87
歩行者	415	734
方向	↑	↓
車両	186	119
歩行者	436	855
方向	↑	↓
車両	180	171
歩行者	616	643
方向	↑	↓
車両	145	133
歩行者	550	646
方向	↑	↓
車両	229	187
歩行者	計測不能	計測不能
方向	↑	↓
車両	340	258
歩行者	計測不能	計測不能
方向	↑	↓
車両	173	244
歩行者	164	169
方向	↑	↓
車両	191	304
歩行者	167	166



車が少なく、歩行者がいつもよりリラックスしているように見える。



川喜多邸前をのんびり鎌倉散策

□専門部会での意見交換
◎整備計画立案の考え方について

- ・五月の連休時の調査より、平日や普段の日曜日の調査の方を計画づくりの参考にしたらどうか。
- ・当日は歩行者天国のようだったが、普段の日や夕方の方の細かいデータを出してほしい。
- ・平日や普段の日曜日や定点観測も意味があるが、今回の調査は大変参考になった。
- ・体験調査に参加しましたが、五月三日は大変な人出で車はのろのろ運転でした。かえって平日の方が怖いと思う。我々住民にしたら、平日を重点的に考えた整備計画を立ててもらいたい。
- ・鎌倉に観光に来る人を減らすような発想では、商売をしている人が困るので、車が進入できないような交通規制をかけないで、計画づくりを進めなくてはいけないと思う。
- ・歩きやすい道は、歩行者の通行を邪魔している物を取り除くことも方法のひとつで、欧米ではガードレールで歩車道を区切ることはほとんどない。
- ・今小路通りは生活道路です。自転車を使うことも多いので、自転車のことも計画に反映してほしい。

◎整備計画案の作成について

- ・歩行者が安全に歩けることが目標です。それを阻害するものは、車の交通量、道路の構造、電柱等の施設の三点に絞られると思う。あまり細かいデータを出すことにこだわると、データを出すことが目的になって計画作りに影響が出てしまうと思う。
 - ・川喜多邸から八幡宮への車を流れやすくすれば渋滞はなくなると思う。
 - ・人が沢山歩いていても車が飛ばして行くので、車のスピードを落とす方法があればよいと思う。
 - ・六地蔵から川喜多邸まで歩いて見て、問題点は何か、解決策は何かを考えれば、自然と結論が出る。
 - ①集計するデータの作成要領はあるのか。結果から誘導される標準的なルールはあるか。
 - ②他都市で似たような事例があるか。
- ①②の質問に対し、交通政策研究会員からアドバイスがありました。
- ・都市によりそれぞれ特性を持っているので、それぞれの都市に応じた整備が必要である。この道にどのような問題があるかということ、全員が共通認識を持つことが大事です。

◎その他

- ・時間帯によっては、歩行者信号が二回の時と一回の時の信号があるように、場所によっては信号の見直しも考えなければいけないと思う。
- ・谷戸の奥の扇ガ谷は、消防のレスキュー隊が六地蔵からしか入れません。道路を狭くするような計画では、緊急災害時に入れないと困ります。

□御成小学校前の歩道拡幅工事の説明

工事区間は、市役所交差点から図書館入り口までの延長約210m。
市役所、御成小学校の用地を利用して幅員約2〜3mの歩道整備を、平成十八年度〜十九年度の二カ年で行う。小学校と反対側に約1.5m程度の歩行空間を確保する工事を平成二〇年度以降に行う予定で調整を進めています。



さながら、歩行者天国のようなGWの今小路通り、商店前も黒山の人だかり

整備に向けた疑問点に対する説明

□第1回専門部会で委員から次のような疑問点が出されました。

- ①今小路通りでの交通事故は
 - ②クリーンステーションの配置は
 - ③実施計画上の位置づけと整備に対する予算は
- 市からの回答

- ①平成一一年～一三年の間に、歩行者の事故は7件、自転車事故は2件、その他の事故は17件。
- ②平成十五年には、歩行者の事故は8件、自転車事故は2件、その他の事故は9件。市役所前交差点では、6件の事故が主に午後の時間帯に起き、その内3件は人と車両の事故であることが報告されました。
- ③クリーンステーションは約20箇所あり、毎日ごみや資源物が置かれていることが報告されました。
- ④鎌倉駅周辺地区整備事業、あんしん歩行エリア整備事業（鎌倉・大船駅周辺）、荏柄天神参道・今小路浸水対策関連整備事業、市役所前交差点改良に伴う測量、今小路通り歩行者尊重道路アンケート調査などの事業が予定されていることが報告されました。

専門部会の進め方

第2回で議論された問題点を整理して、次回から3グループに分かれてワークショップにより、集中的に研究を行っていくこととなりました。

また、グループは固定ではなく適宜入れ替えをしながら、ワークショップを進めていくこととなりました。

ワークショップの進行は坂本委員が務め、エルファデック委員とコンサルタントから2名が各グループに参加することとなりました。



人を掻き分けるように進む車



小町通りから人の流れが絶えない鉄の井

編集後記

体験調査をされた委員や今小路周辺にお住まいの委員から、様々な角度から意見が出され、日々の市民生活に密着している生活道路に危険な場所が多いことが分かり、歩行者尊重道路の整備の重要性を痛感しました。

今後は、3つのワークショップに分かれ検討することとなって、なお一層熱のこもった議論を展開していただきたいと考えております。

専門部会の傍聴者募集

第4回今小路通り専門部会は、平成18年7月19日（水）午後6時から鎌倉市福祉センター（2F）で開催します。

市内にお住まい、またはお勤めの方なら原則、どなたでも参加できます。今小路通り歩行者尊重道路専門部会事務局（交通政策課）までお申し込みください。

TEL:0467-23-3000（内線2511）

FAX:0467-23-8520

E-mail koutsu@city.kamakura.kanagawa.jp